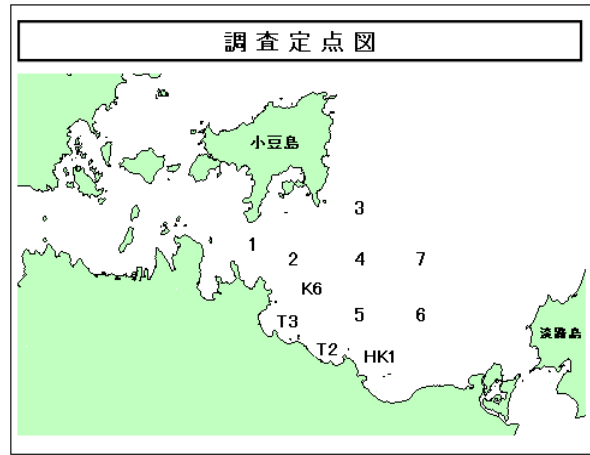


# カタクチイワシ卵稚仔出現状況 (2014. 5-2号)

香川県水産試験場 益井  
TEL: 087-843-6511

調査日: 2014年5月19日  
調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳  
調査定点: 播磨灘11定点(右図)

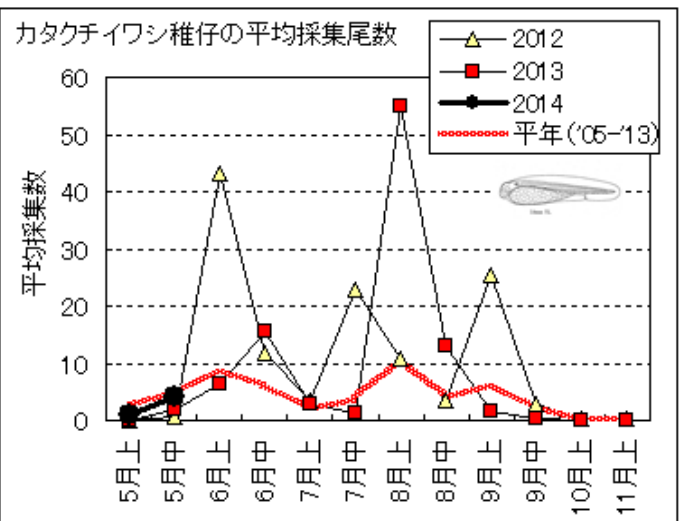
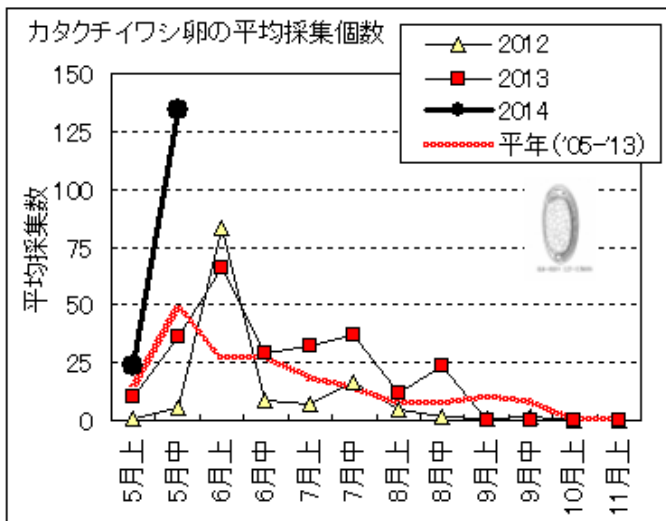


## 【カタクチ卵】 定点別出現数

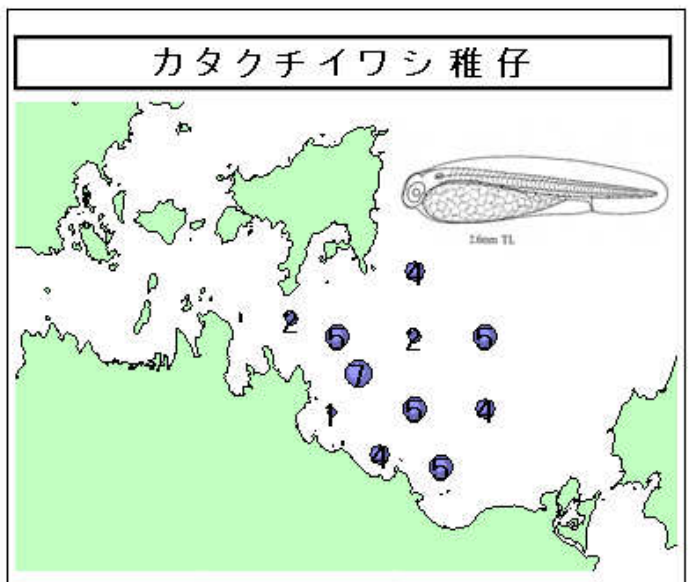
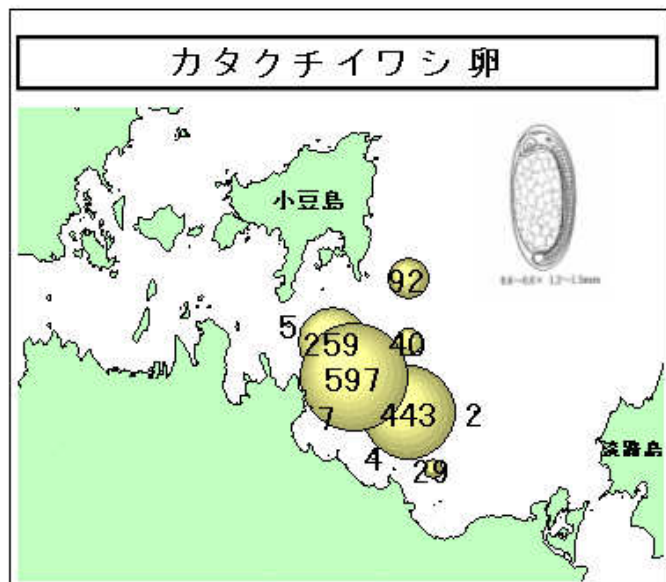
年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2012.5.17	0	22	0	0	1	0	0	13	20	2	0	5.3
2013.5.16	0	0	2	0	2	47	205	44	93	2	0	35.9
<b>2014.5.19</b>	<b>5</b>	<b>259</b>	<b>92</b>	<b>40</b>	<b>443</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>29</b>	<b>4</b>	<b>7</b>	<b>597</b>	<b>134.4</b>

## 【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2012.5.17	0	1	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0.5
2013.5.16	0	2	0	1	2	2	9	0	2	1	1	1.8
<b>2014.5.19</b>	<b>2</b>	<b>5</b>	<b>4</b>	<b>2</b>	<b>5</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>5</b>	<b>4</b>	<b>1</b>	<b>7</b>	<b>4.0</b>



\* グラフの値は、播磨灘11定点の平均値を表す。



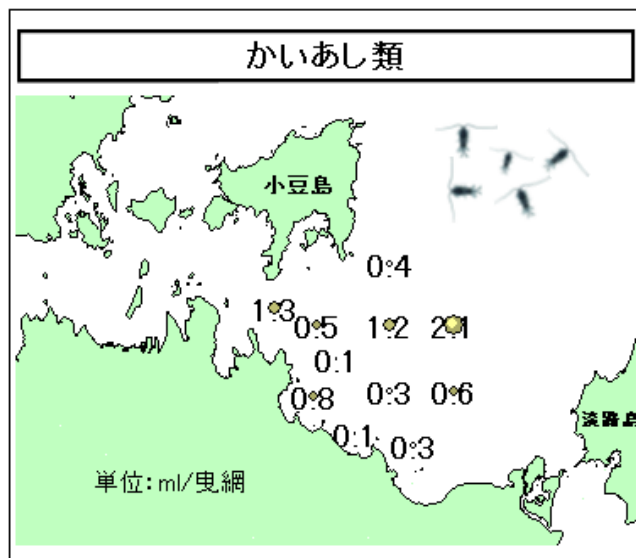
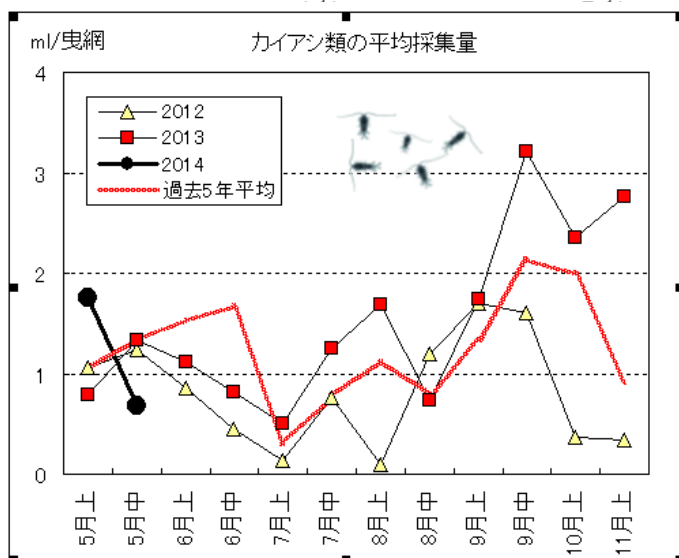
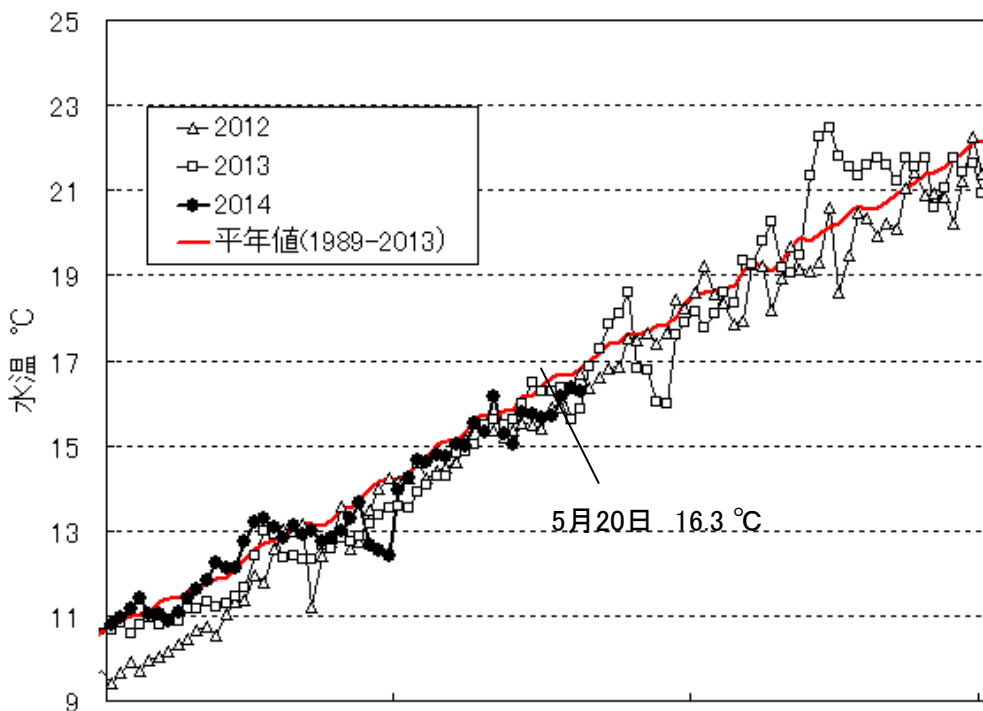
播磨灘11定点における卵の平均出現数は134個で、前年および平年の同時期を大幅に上回りました。一方、稚仔の平均出現数は4尾で、前年の同時期より少し多く、平年の同時期とほぼ同水準でした。卵は調査点2、K6、5で局所的に出現していました。現場観測時において、これらの調査点より南側でカタクチイワシと思われる魚群が魚群探知機等により頻繁に確認されました。

引田沖の水温は平年並みからやや低めで推移しており、カタクチイワシの産卵に適した水温となっています。

餌料生物として重要なカイアシ類は、大幅に減少しており、比較的少ない状況です。

【参考】

引田沖水温ブイデータ(午前9時, 1.5m層)



カイアシ類採集量は、プランクトン採集量(沈殿量)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。

※カタクチイワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチイワシ卵稚仔速報」でも公開しています。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/>